

令和3年度（2021年度）第1回函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

- 1 日時 令和3年（2021年）5月20日（木）午後2時～3時
- 2 場所 函館市環境部4階大会議室
- 3 出席者 委員（15人）
松崎静江委員，佐藤不二子委員，陳有崎委員，安藤真理委員，畠山晴一委員，
高橋泰助委員，荒井隆幸委員，須賀昌昭委員，押切哲委員，田柳恵美子委員，
渡谷能孝委員，八戸勇人委員，池田誠委員，吉田裕委員，佐藤賢一委員
事務局（5人）
事務局長 田中修一（環境部環境総務課長）
事務局員 佐藤弘康（同課主査），福田誠（同課主査），
佐々木隼（同課主任主事），中村瀬奈（同課主事）

4 傍聴者 なし（随行者1人（渡島総合振興局保健環境部環境生活課））

5 発言要旨

(1) 開会

(事務局)

- ・ 名簿順に出席委員の紹介
- ・ 事務局長から事務局員の紹介
- ・ 会長選出までの間，事務局で議事進行する旨の確認 委員：了承

(2) 議事

ア 会長・副会長の選出

- ・ 事務局から「会長：池田誠委員，副会長：高橋泰助委員」を提案
- ・ 全会一致の承認を得て会長：池田誠委員，副会長：高橋泰助委員を選出

○ 挨拶

(池田会長)

北海道温暖化防止活動推進員の池田誠と申します。

3時ぐらいまでの予定で進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(高橋副会長)

会議の場で適切ではないかもしれませんが，少しだけ，日ごろ思っていることを話させていただきます。

地球温暖化はすごく大きな問題になってきていて，日本は（温室効果ガスを）46パーセント削減するとのことですが，これは今までの経済が全部変わらないと，社会が変わらないとうまくいかないんだろうと思います。

そんな中，去年は自分の家に太陽光発電の設備を屋根に付けました。だいたい500万円近くかかったんですね。

元を取ることを考えて一生懸命売ってるんですけども，（スタートが）比較的遅くなったもので，買取価格があまり高くないため，だいたい90から100歳近くならないと元が取れないだろうと思います。そんなことをしながら，個人でできることは結構，限界があるのかなと思ってます。

ですから，このように函館市の様々なセクターの皆さんが集まって，各業界，各学校・大学，そして町内会をはじめ市民運動の方を含めて，みんなで少しは函館の温暖化対策に力を注ぐという会議があるのは素晴らしいと思います。ぜひ今日の会議で皆様の積極的な発言をいただければ嬉しく思います。

- イ 協議会規約の改正について
事務局から「資料1-1 函館市地球温暖化対策地域推進協議会規約」および「資料1-2 新旧対照表」により報告
※ 委員：意見なし
- ウ 令和2年度（2020年度）事業報告について
事務局から「資料2-1 令和2年度（2020年度）事業報告について（報告）」および「資料2-2 運輸部門のエコライフ推進事業の実施状況について」により報告
※ 委員：意見なし
- エ 函館市の温室効果ガスの排出状況および函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）[第2次計画]の策定について
事務局から「資料3 2017（平成29）年度函館市の温室効果ガスの排出状況について（報告）」および「資料4 函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）[第2次計画]の策定について（報告）」により報告（関連する内容であるため、2件一括して報告を行った）
（押切委員）
- ・ 資料3で当社（北海道電力）に関する記述があったので、補足説明をさせていただきたい。
 - ・ 2017年度におけるCO₂排出係数の増加は、泊原子力発電所の停止により、代替として火力発電所が稼働していることによるものであり、ご迷惑をおかけしております。
 - ・ 当社としてはCO₂の排出削減には原子力の活用は有効と考えているため、引き続き安心安全な泊原子力発電所の再稼働を目指して参りたい。
- （陳委員）
- ・ 私個人としては原発に反対。
 - ・ 世界の趨勢としては石炭消費も地球温暖化対策には悪影響という流れ。ぜひ北電さんの技術力・科学力で、CO₂を削減し、便利な生活が送れるように努力していただきたい。
- オ 令和3年度（2021年度）事業計画（案）について
事務局から「資料5-1 令和3年度（2021年度）事業計画（案）について」および「資料5-2 はこだてスマートムーブデー事業（案）について」、「資料6 環境省「スマートムーブ」リーフレット」、「資料7 エコドライブ10のすすめリーフレット」により説明
- （田柳委員）
- ・ はこだてスマートムーブデー事業の取組要件に「ノーマイカーによる移動（徒歩・自転車・公共交通機関など）」とあるが、コロナ禍において公共交通へ誘導するのが果たしてよいのか、疑問を感じる。
 - ・ 函館市は自転車専用レーンが整備されていないなど、自転車通勤・通学をするうえで危険が伴っている。事業を実施するうえでこの点について配慮が必要ではないか。
- （事務局）
- ・ 事務局としては必ずしも公共交通機関に限らず、テレワークやエコドライブなど、その方に適した取り組みができればと考えている。

- ・ 各交通事業者ではバス停ごとの換気や車両の消毒など、様々な対策を実施しているほか、(本事業としても)マスク等の感染対策への呼びかけもあわせて行ったうえで、実施していければと考えている。
- ・ 自転車の利用は二酸化炭素排出量が0となるため、今後も誘導を進めていきたいと考えているが、同時に安全対策の呼びかけについても、市の担当部署と協議のうえ検討していきたい。

(松崎委員)

- ・ 産業道路は下校時間帯に自転車に乗った生徒が集団で横断歩道等を走行しており、危険を感じる。環境部として学校へ注意できないのか。

(事務局)

- ・ 環境部としては、担当部署(市民部交通安全課等)へ相談することとなる。
- ・ 協議会のスマートムーブデー事業としては、以前に自転車のマナーに関するリーフレットを配布したこともあり、そういった呼びかけなどのできることを検討していきたい。

(須賀委員)

- ・ 事業者(北海道ガス)としては、スマートムーブデーに登録し参加をしていきたい。既に時差出勤に取り組んでおり、(混雑回避につながるため)公共交通機関の利用に有効である。
- ・ 交通安全の観点からもエコドライブは推奨したい。
- ・ すでにテレワークも3割の社員が取り組んでいる。今後も環境に対する取り組みを進めていきたい。

(事務局)

- ・ コロナ禍でテレワークに取り組まれている団体様も増加している。今後も皆様の意見を踏まえたいので、事業を進めていきたい。

(松崎委員)

- ・ 本協議会の資料を町会に配布する考えはないのか。

(事務局)

- ・ 各町会でご希望があれば相談させていただきたい。

(池田会長)

- ・ 私は北海道地球温暖化防止活動推進員ですので、町会へ出向いてお話しすることもできます。ご希望があれば渡島総合振興局を通じてお申し込みください。

(田柳委員)

- ・ ただ公共交通機関にシフトするのではなく、北ガスさんのように時差出勤と組み合わせるなど、スマートムーブデーの取り組み方のモデルケースについて、可能であれば、リーフレット等に掲載できないか。
- ・ 市の調査で予想以上にテレワークへ取り組んでいる企業があることがわかった。

(池田会長)

- ・ 他に意見がなければ、事業計画(案)の承認いただけますか。

※ 委員：異議なし

- ・ 事務局から何かありますか。

(事務局)

- ・ 今後の予定は、本日は2つの部会の設置について承認いただいたので、後日、構成委員の指名を行い、部会の開催の案内をします。
- ・ なお、委員の皆様からの新たな事業提案などについては、随時受け付けていますので、事務局までご連絡をお願いします。

(池田会長)

- ・ 以上をもちまして、本日の会議を終了します。皆様ご協力ありがとうございました。

(3) 閉会